2017年7月の格言

平成２９年７月の格言は

開発部門は独立させ
社長直轄とせよ

未来事業はそれが新商品の開発であれ
販売促進であれマーケットの開拓であれ
現事業と完全に分離しなければならないのである

現事業と未来事業を兼任させるくらいなら
むしろ未来事業などという
きれいごとはやめた方がよい
形だけつくっても
実質的には何もないのと同じだからである
人がいないというなら
社長自ら取り組むべきである
それが出来ないなら
専任者を置くということになるのだ

次に未来事業部門は必ず社長直轄でなければならない
専任者を技術部長などのもとにつけるようなことをしてはならない
現事業の兼任と同じことだからである

もし未来事業部門を社長直轄としなければ
わが社の将来の運命を決める
未来事業を社長自らやらないということになる
こんな大きな誤りはない

一倉定先生著「一倉定の経営心得」事業活動の本質より